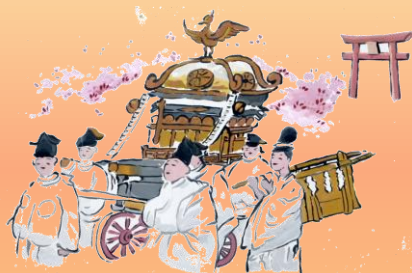


第5回大志連区の歴史文化教室：  
親子で大志の歴史と文化を知ろう・・・



大志子ども会の献馬

# ますみだじんじゃ とうかさい 真清田神社・桃花祭

2018/08/07 (火) 大志連区の歴史と文化を知る会  
大志子ども会

- 8:50 参集殿2階会議室集合、参加者確認
- 9:00～ 「桃花祭・献馬5年間の歩み」：木村
- 9:20～ 「真清田神社・桃花祭と一宮城」：  
真清田神社禰宜(ねぎ)の楠田さん説明
- 9:40～ <休憩・宝物館へ移動>
- 10:00～ 「宝物館見学」：説明楠田さん
- 10:30～ 「境内フィールドワーク(野外調査)」  
真清田神社を知ろう：石原
- 10:50 解説：石原
- 11:00 終了挨拶、お知らせ、解散



## 真清田神社



### <沿革・祭神・社名>

真清田神社の名が初めてみられる記録としては、「情和（じょうわ）14年（847年）である。

神社の祭神は、国造（くにのみやっこ）尾張氏の祖神（おやがみ）で農業守護の神である天火明命（あめのほあかりのみこと）とされている。この神は、天照大神（あまてらすおおみかみ）の孫にあたる

社名の由来は、神社が中島郡の水田をうるおす水源近くに立地していたため、清く澄んだ水の田、真清田の名が生まれたといわれる。

### <暮らしの中の真清田神社>

古来、真清田神社は多くの人々の信仰を集め、そのくらしにかかわりをもってきた。

1727（享保12）年、真清田神社門前で門前市（のち三八市）が始まった。参拝者が多く、とても賑わった。やがて、門前には常設店が増え、現在の本町商店街が形成されていった。

真清田神社は、現代人の生活の中でも、その折節に生きている。一年の無事を祈る初詣に始まり、成人祭、節分祭、短冊祭、桃花祭、御田植祭、夏越神事（輪くぐり）、七五三等々、人々は神社の祭典行事に参加している。また、生まれた子の多くは、初宮詣（お宮参り）を行う。（この習わしは、鎌倉時代頃からあり、その土地の氏神様に詣で、地域の一員になったことを報告し、氏子として認めてもらえるようお願いをしたことが伝わってきた）

### <手洗場の銅製吐水竜「雨ごいの竜」>

#### <雨ごいの竜>

弘法大師が、この地方のかんばつにあたり雨ごいをされたが、雨は容易に降らなかった。そこで大師は、茅で竜を作り、一心に祈った。不思議なことに、その竜が動き出し、「あなたが、どんなに祈ってもだめです。天下の竜はすべて、竜王によってとじこめられています。もし、雨を降らせたら、どんな竜でも殺されてしまいます。」と言った。大師は、

その竜に向かって、「この村の人みんなを助けるのだ。なんとか、おまえの力で雨を降らせてくれたら、真清田神社の境内に祀ってあげよう。」と言った。竜は、「そんなに言われるのならやってみましょう。水の種を少しください。」と言った。大師が硯の水を大地に注がれると、たちまち黒雲を呼んで大雨を降らせた。やがて、その竜は竜王の怒りにふれ体がずたずたになって落ちてきたという。その後、大師は約束通り竜神としてお祀りになったという。

同じく伝説の樹木として、伝教杉や貫之桜が植えつがれ、さらに赤染衛門や阿仏尼の歌碑が建立されている。

一宮七夕まつりは、毎年7月の第4日曜日前後5日間にわたって行われる。これは、1965（昭和40）年、本殿に向かって右側に摂社として造営された、服織神社の祭神である萬幡豊秋津師比賣命（よろずはたとよあきつしひめのみこと）に、その加護を感謝し、機織工業の今後の繁栄を祈念する祭である。

#### ※参考文献

「尾張の文化財とくらし」愛知県社会科教育研究会尾張部会  
「一宮 北中学区の昔と今」古川茂（元北部中学校長）



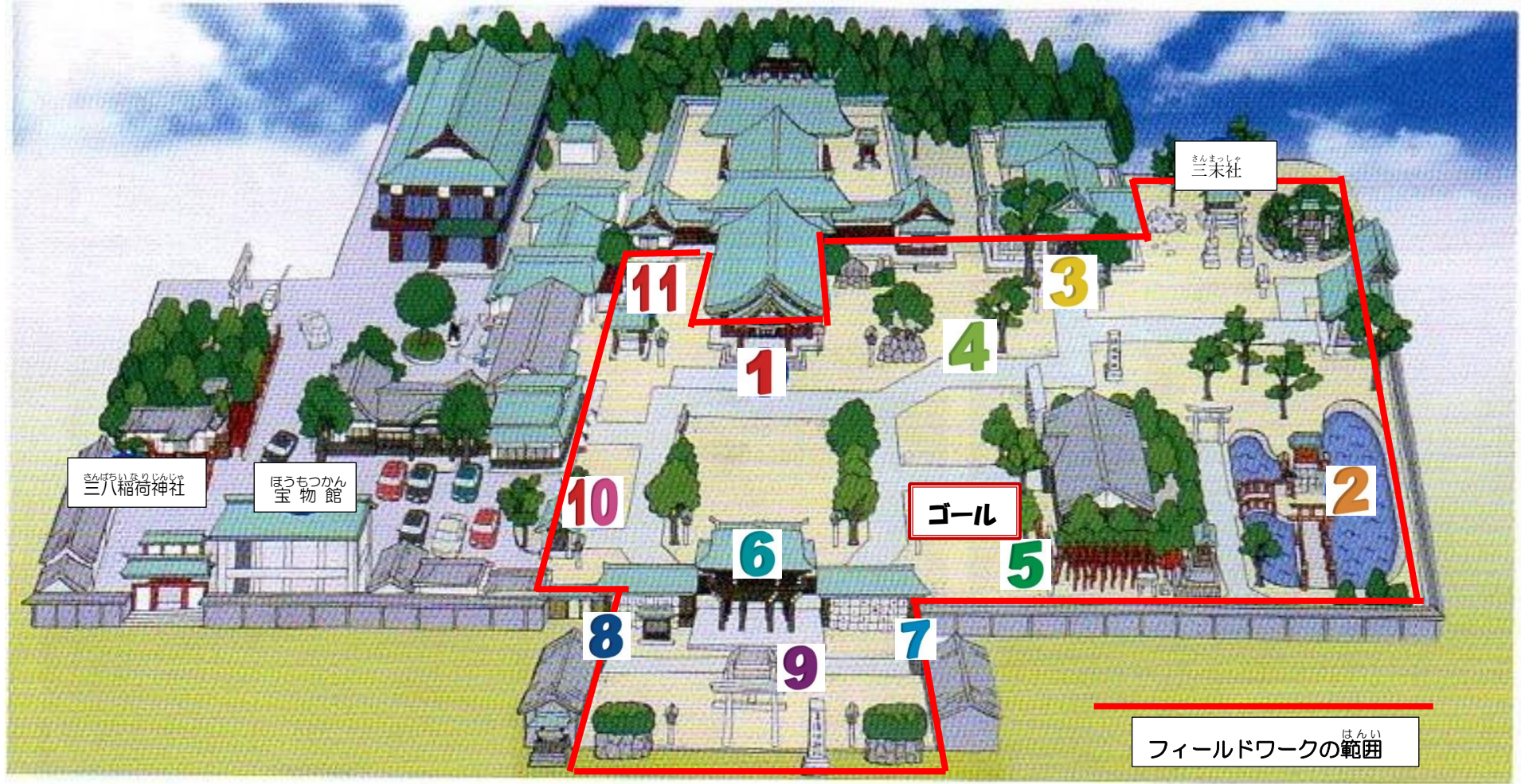
【真清田神社本殿】



【吐水竜】



# 真清田神社境内図



## 真清田神社 桃花祭 とは

- 桃の節句にちなんだやくばらい厄払いの祭り。江戸時代までは桃の節句  
3月3日に行われ、明治43年から太陽暦の4月3日となる。
- 別名「馬まつり」とも称され、明治・大正・昭和の中期までは、  
百数十頭の馬が出ていた。写真に残っている馬具は64で  
内19が大志連区の馬具 「桃花祭と飾り馬具」松本勝二著より
- 平成30年の献馬は6頭、うち4頭は大志連区
- 太平洋戦争で焼け残った2つの馬具（石山町のきんもうきゅうびきつね金毛九尾狐、  
朝日町のじんむてんのう神武天皇）は、宝物館に収蔵されている。

## 平成 26 年から始まった

### けんば みこし 献馬・神輿とうかさいにとまって桃花祭を楽しもう！ の 5 年間のあゆみ

### （各町内から連区全体へ、大人から子どもへ）

平成 25 年まで：各町内(本町 2、本町 3、石山町)個別で桃花祭を祝う

⇒ 平成 26～30 年：各町内会＋大志歴文会＋大志子ども会で

連区民が一緒になって桃花祭を祝う 形が出来てきた。

- 献馬、神輿は本町 2、本町 3、石山町、歴文会から奉納
- 町内会と一宮市市民活動支援制度の投票の資金で運営
- 大志連区民は、誰でも参加できる
- 連区全町内を献馬で回る新中学 1 年生を連区民がお祝
- 参加する子どもの似顔絵で献馬を飾る
- 子ども達は、生きた馬の躍動を感じ、大きな声を出し  
汗をいっしょにかくなかで、大志への愛着を感じる



写真に見る桃花祭・献馬・神輿



22年前（H8-1996）  
長襦袢に化粧の大人達



本町2  
金鯨



本町3  
宝船



石山町  
神輿

大志連区の歴史と文化を知る会

子ども達の似顔絵  
で飾る献馬



引き手は子ども達



大志連区 1



大志連区 2

大志連区民がいっしょになって  
けんぼ みこし  
**献馬・神輿にとまって**

桃花祭を楽しもう！

午前全町  
内巡回

午後神幸行  
列参加

平成 30 年 4 月 3 日（火） 連区と連区関係者の方  
連絡先 090-1832-9029（木村）ならどなたでも

平成 30 年 480  
名の親子が楽し  
みました

<質問1> 神池（かみいけ）にかかる橋の名前は何ですか？

<こたえ> 開運橋（かいうんはし）

<質問2> 本殿（ほんでん）の東隣（向かって右側）にある神社の名前は  
何ですか？

服織神社（はとりじんじゃ）

<こたえ>

<質問3> 富島稲荷大明神（桃丘亭のとなり）の狛狐（こまきつね）がく  
わえているものは何と何ですか？

<こたえ>

玉と巻物 玉：神様が優れていることの象徴  
巻物：知恵の象徴

<質問4> 「賤（しず）の男（お）が たねほすという 春の田を つく  
りますだの 神にまかせん」を詠んだ詠者・赤染衛門（あかさ  
めえもん）は、男性ですか、女性ですか？

<こたえ>

大江川を改修したという尾張の国司  
大江匡衡（おおえまさひら）の妻で女性

<質問5> 「いちのみや 名さえなつかし ふたつなく みつなきのりを  
守るなるべし」と詠んだ阿仏尼（あぶつに）の有名な紀行文（き  
こうぶん）は何ですか？

<こたえ>

十六夜日記

<質問6> 真清田神社は、太平洋戦争中の昭和 20 年（1945）7 月 28  
日夜の一宮空襲で、ほとんどが焼けてしまいました。幸い焼け  
残ったものが 3 つあったそうです。下から選んで焼け残ったも  
のに〇印をつけなさい。楼門から、周りを見渡してみましよう。

<こたえ> ( ) 楼門ろうもん ( ) 本殿ほんでん ( ) 神橋しんきょう  
( ) 鳥居とりい ( ) 社号標しやごうひょう

<質問7> 雨が降らずに困っていたとき、弘法大師（こうぼうたいし）は  
何という神に祈って雨を降らせましたか？

<こたえ>

竜神

<質問8> 神水舎（しんすいしゃ）の御神水（ごしんすい）を飲まれた天  
皇（てんのう）の名前をお二人書きなさい。

<こたえ>

白河天皇、明治天皇